

# 再生・活性化を果たした商店街事例 №28

## 石山商店街振興組合(滋賀県大津市)

### 【取組の方向】 計画的な商店街活性化プラン

商店街執行部の企画力と行動力で、地域や大学を巻き込みプラン実行。店舗数216。

○商店街の置かれた状況。  
個店の魅力低下、道路の安全性未整備などにより、商店街衰退の危機感がつのる。



○対応策  
大津市に補助金を申請したところ、継続的なアクションプラン策定するようにと言われ、会議を重ねることになる。

○状況変化  
会議をするうち、商店街のビジョンがはっきりし、前向きな発言が増加する。「地域と歩む“暮らしのひろば”」をスローガンに、10年のアクションプランを作成。やるべきことが明確になる。



○具体的取組  
大学に直談判して協力を得るなどの行動力で、学生や地域小学校・企業・市職員・NPO法人等他を巻き込み、さまざまなプランを企画・実行。

○具体的成果  
歩行者通行量が毎年増加。空き店舗はすぐ埋まる状態に。  
子どもの職業体験イベントでは、親も来店することで商店街への馴染みができ、今まで来街しなかった住民が来るように。



### 【地方自治体の取組】

国、県、市が防犯カメラやコミュニティサロンなどのハードや、イベントなどソフト事業費を補助。市が集客やボランティアに協力。